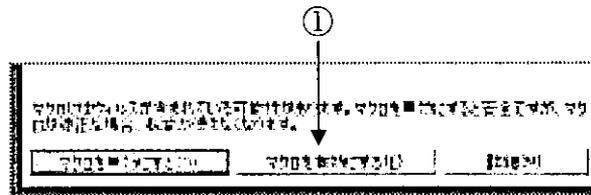


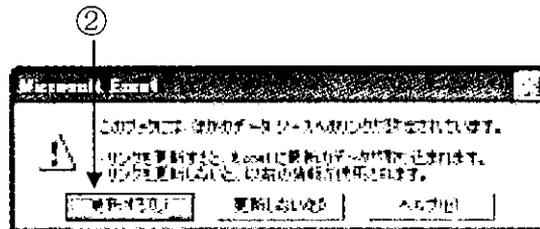
11. 「内科健診」「耳鼻科健診」「眼科健診」を入力してみましょう。

眼科健診,耳鼻科健診,内科健診は,学校医の先生により,診断名が変わるため,なかなか全国统一した書式では使いにくいものです。そこで,これらの検診の項目のみ,自由記述できるようにしました。各園の自由な工夫が可能です。

- ① 「マクロを有効にする」を押します。



- ② 「最新の情報を更新する」を押します。

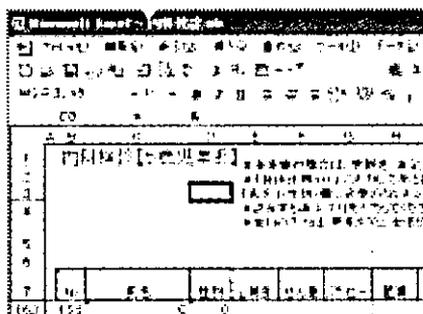
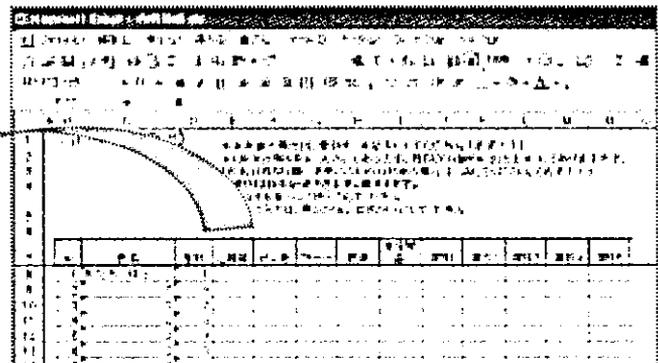


- ③ 氏名と性別が自動入力されているかを確認します。未検査児や必要のない「0」を空白にします。

*説明3, 氏名と性別入力 こんなことに気をつけてを参照してください。

- ④ 内科健診の入力をしてみます。自由に入力できる項目は,10個までです。4文字以内で入力してください。

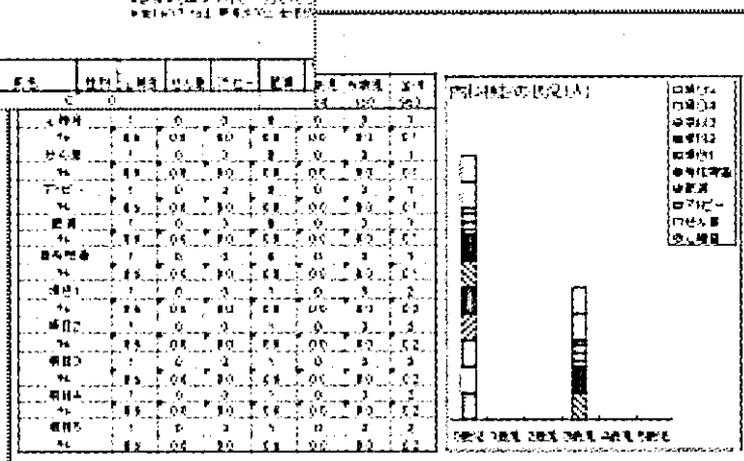
0歳児のシートのみ,項目を自由に変更することが可能です。変更した項目は,他のシートやグラフ,表に反映されます。



☆注意☆

①10項目まで自由記述可能。

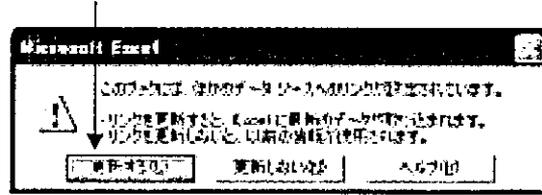
②文字数; 4文字以内。



12. 「身体計測5月」～「身体計測3月」を入力してみましょう。

「身体計測4月」とほぼ同じ形式で、5月以降の身体計測の数値が入力できます。

- ① 「最新の情報を更新する」を押します。



- ② 氏名と性別が自動入力されているかを確認します。未検査児や必要のない「0」を空白にします。
*説明3、氏名と性別入力 こんなことに気をつけて を参照してください。

- ③ 計測した数値を入力します。

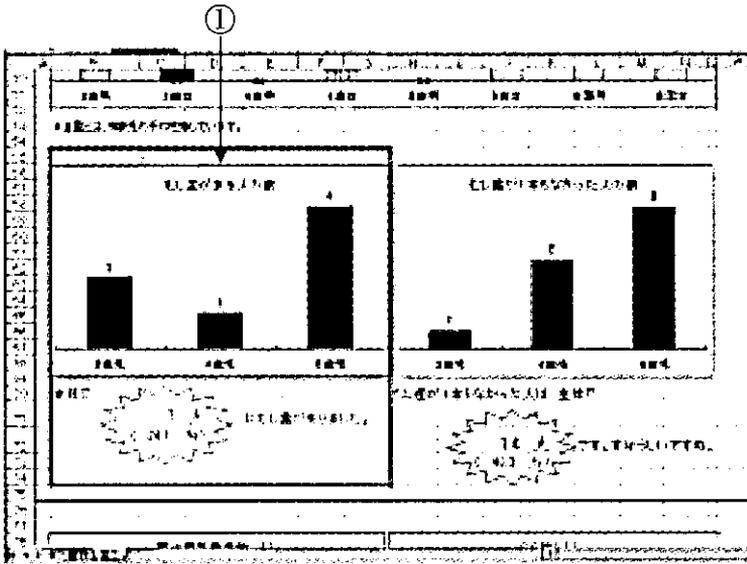
No.	年齢	性別	身長(cm)	体重(kg)	BMI	BMI	BMI	BMI	BMI	BMI
1	1	M	75	12	20.8					
2	2	F	80	15	23.4					
3	3	M	85	18	24.7					
4	4	F	90	20	24.7					
5	5	M	95	22	24.2					
6	6	F	100	24	24.0					
7	7	M	105	26	23.7					
8	8	F	110	28	23.1					
9	9	M	115	30	22.8					
10	10	F	120	32	22.2					
11	11	M	125	34	21.7					
12	12	F	130	36	21.2					
13	13	M	135	38	20.7					
14	14	F	140	40	20.2					
15	15	M	145	42	19.7					
16	16	F	150	44	19.2					
17	17	M	155	46	18.7					
18	18	F	160	48	18.2					
19	19	M	165	50	17.7					
20	20	F	170	52	17.2					
21	21	M	175	54	16.7					
22	22	F	180	56	16.2					
23	23	M	185	58	15.7					
24	24	F	190	60	15.2					
25	25	M	195	62	14.7					
26	26	F	200	64	14.2					
27	27	M	205	66	13.7					
28	28	F	210	68	13.2					
29	29	M	215	70	12.7					

- ④ 肥満度の推移などを参考に指導の資料にします。

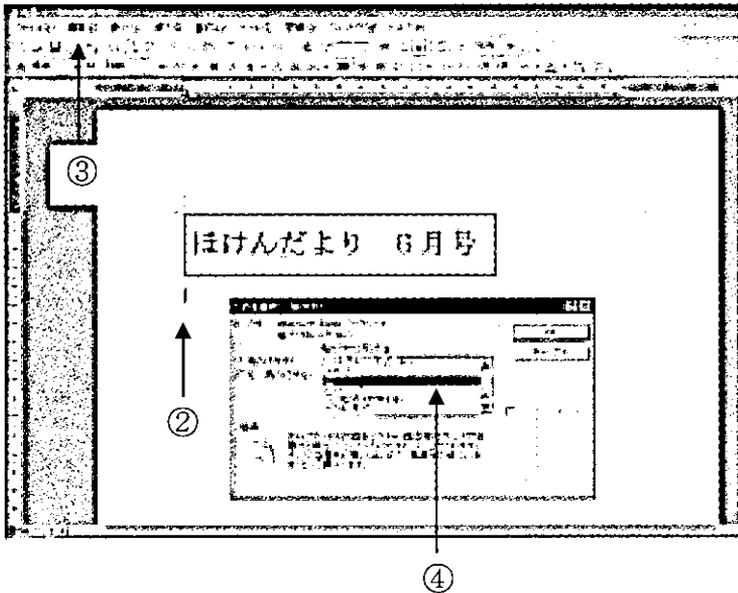
13. 応用編:便利なグラフの活用の仕方

このソフトのグラフを使って、自分で資料や冊子を作成したいとき、こんなことを知っておくと便利です。

例； 歯科健診のグラフを、Wardで、
保健だよりとして活用する場合



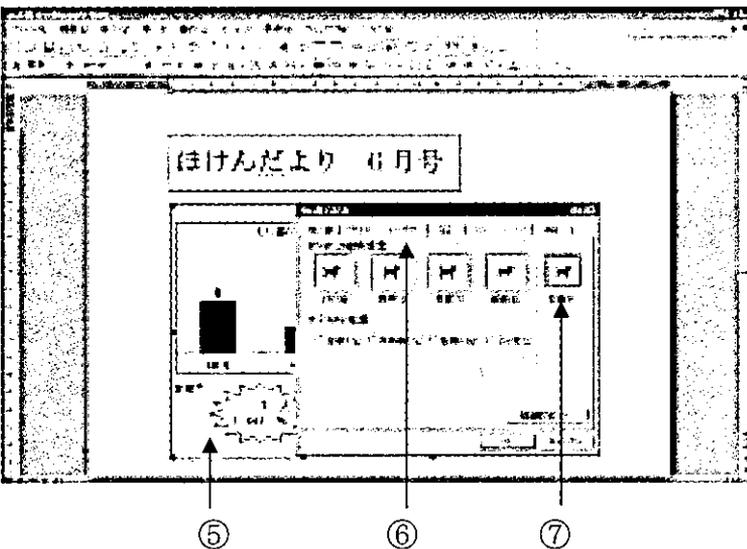
① 使いたい部分を選択して、
「コピー」します。



② Wardをたちあげ、保健だよりを作成して
おきます。そして、グラフを挿入したい
場所を選びます。

③ メニューバー「編集」をクリックします。
「形式を選択して貼り付け」を選びます。

④ 「図」をクリックします。



⑤ グラフが貼り付けられました。
そのグラフを選択し、右クリック。

⑥ 「図の書式設定」を選んで、「レイアウト」
を出します。

⑦ 「前面」を選びます。

☆これで、どの場所にも自由に移動することができます。また、大きさの変更も形が崩れず、操作できます。

14. 動作環境

OS	Microsoft Windows XP + Microsoft Excel2002 SP3 *上記以外では、データを入力してもグラフが出力できないなどの不都合が出ます。
ハードディスク	システムインストールに最低11MB以上の空き容量が必要。 その他、実データ用領域が必要
モニタ	800×600ピクセル以上
周辺機器	CD-ROMドライブ/バックアップ機能

健康診断ソフト
使用許諾契約書

「健康診断ソフト」（以下、本ソフトウェア）は、下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアを使用された場合は下記条項にご同意いただいたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上ご使用ください。

もしも、同意出来ない場合、たとえ試用目的であっても、本ソフトウェアを使用することは出来ません。使用を中止し、本ソフトウェアに関わる全てのファイルを削除して下さい。

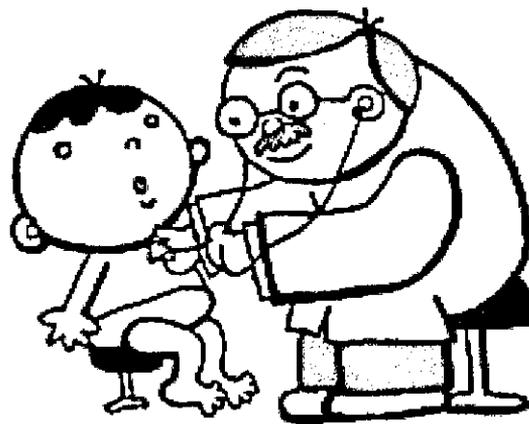
使用許諾

- ・ 本ソフトウェアはフリー・ソフトウェアです。個人使用、業務使用に関わらず自由に使用してかまいません。
- ・ 本ソフトウェアはソフトウェアの原版からのコピーを1つだけ作成することができます。複数のコピーを作成したり、再頒布することは一切禁止します。
- ・ 本ソフトウェアは十分に動作確認(Microsoft Windows XP + Microsoft Excel2002 SP3)をしています。お使いのパソコン環境や、プログラムの不具合などによって問題が生じる場合があります。それにより損害が生じて、損害に対する保証は出来かねますので、あらかじめご了承ください。

著作権

ソフトウェア製品は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。ソフトウェア製品は許諾されるもので、販売されるものではありません。本ソフトウェアは、河合三奈子の著作物です。本ソフトウェアに対するリバースエンジニアリング及び、改変は一切禁止します。

なお、著作権者は、本ソフトウェアの瑕疵の有無によらず、本ソフトウェアのサポートや動作保証は一切行っておりません。



製品へのお問い合わせ

保健統計ソフト《すこやか保健室》

2005年3月作成

厚生労働省科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業

「健やか親子21の推進のための情報システム構築及び各種情報の利活用に関する研究」班

(主任研究者：山縣然太郎 山梨大学大学院医学部 教授)

学校保健グループ

分担研究者：松浦賢長 福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座 教授

研究協力者：河合三奈子 八幡市立八幡第五小学校 養護教諭

山口智佳子 奈良教育大学附属幼稚園 養護教諭

小松原かおり 京都教育大学附属幼稚園 養護教諭

安田 梓 大阪市立幼稚園 養護教諭

yoyoproject 幼稚園の養護教諭のホームページ：<http://www.eonet.ne.jp/~yoyoproject-2003/>

e-mail：yoyoproject2003@yahoo.co.jp

幼児期の健康支援確立に向けた保健文書様式の情報化に関する研究

山口 智佳子	奈良教育大学附属幼稚園
小松原かおり	京都教育大学附属幼稚園
安田 梓	大阪市立幼稚園
河合 三奈子	八幡市立八幡第五小学校
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部地域・国際看護学講座
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座

全国の幼稚園養護教諭や保健職員、および保育所(園)の看護師・保健師など、幼児期の健康支援に関わる職種に提供し、気になる子どもや保護者の健康支援、組織連携確立の材料として活用がなされることを目的として、学校保健分野で活用する様々な様式例を盛り込んだ保健関係文書様式例を作成したので報告する。

当研究班で開発した保健統計ソフトとあわせて、この保健関係文書様式例も、その基本となる個々のデータを集計、統計処理できるものである。子どもの心身における健康的な課題を明確にし、早期把握、支援、連携、解決のためのエビデンスとすることができる。このソフトの活用により、養護教諭の従来の役割について重要性を認識し、園内体制の中でその専門性を発揮することができるよう期待する。

I. はじめに

幼稚園の学校保健の分野は、その重要性は認知されているにもかかわらず、細部にわたり理解や連携が実施されている状況ではない。例えば保健指導や安全指導などが単独で実施されたとしても、その根拠となる課題に対してのデータがないために、各指導の実施後の成果や課題については、子どもの反応や自らの感覚に頼るしかなかった。また、全体を見通している養護教諭だからこそ提案したい方針に対して、園内職員へ理解を求め、その組織連携が効率よく進むことができるような、説得力のある実態に基づいたデータが必要であった。

そこで本研究班では、日々の執務記録で比較的使用頻度の高い保健日誌の記載内容を中心とし、保健室来室状況を統計処理できるソフト(保健日誌)、健康診断の結果を統計処理できるソフト(健康診断)、学校保健分野で活用する様々な様式例を盛り込んだソフト(保健関係文書様式例)を総合的にまとめた保健統計ソフト「すこやか保健室」を開発した。

学校保健分野における養護教諭の職務が、勤務する地域や園種に関係なく共有できる基本的な書式を共有することで、職務の内容が整理できるよう保健関係文書様式例をまとめたので、

ここではそれについて報告する。

保健関係文書様式例を、全国の幼稚園養護教諭や保健職員、および保育所(園)の看護師・保健師など、幼児期の健康支援に関わる職種に提供し、気になる子どもや保護者の健康支援、組織連携確立の材料として活用がなされることを目的としている。

II. 保健関係文書様式例の概要と工夫点

(①と③については様式例を添付)

①子どもをより理解するための保健日誌様式例

各クラスの欠席人数を把握できるようにした。また、日記の欄には「健康観察」「園の安全衛生状況」「家庭連絡事項」「昼食・おやつ」の状況など、養護教諭として子どもを支援する視点をいれた。また、園内での傷病記録の欄は、保健室来室状況を統計処理できるソフト(保健日誌)と対応できるように書式をそろえた。

②学校保健安全衛生計画表様式例

発達段階に合わせた支援ができるよう、各月ごとの学年別の「ねらい」や「保健指導」内容の欄をいれた。また、「家庭との連絡」の欄も作った。

③子どもの健康を守るための各健診のお知らせ様式例

病気の早期発見につながるよう、治療勧告としても使用できるようにし、受診の結果も園にフィードバックできるような書式にした。

④園医（学校医）との関係につながる執務記録様式例

園医（学校医）の執務内容を把握できるような書式にした。

⑤子どもの実態に即した幼児健康診断書様式例

乳歯から永久歯に生え変わる時期なので、歯式を永久歯についても記入できる欄を作った。

⑥保護者への対応と園の危機管理体制の見直しに活用する事故災害報告書様式例

園内で起きたけがやその場所など、園管理下における事故災害状況把握のための様式例を作成した。これは病院への搬送・受診状況の確認にもつながる。保護者への的確な状況説明とその後の対応や、けがが起きやすい場所など園内の危機管理体制の見直しにも活用できると考える。

Ⅲ. おわりに

子どもの健康を守り育てるために、学校保健の分野は重要な役割を担っている。特に幼児期に初めて出会う学校保健は、生涯にわたり健康に生活しようとする態度を育成するための基礎、基盤となる。

また、学校保健の視点から保護者への支援活動を実施することは、その後の子どもの健やかな成長に大きく影響する。

保健関係文書様式は、教育委員会の所定の様式があるところも多いが、全国で統一された様式はない。幼稚園での学校保健の確立に向けても、日々の職務に必要な様式例を提案することで、同職種や他職種とも関係を図っていきたいと考える。

また様式は、子どもの実態や園の実情、法規改変に即応して絶えず見直していく必要がある。子どもの健康支援のための保健関係文書様式例に関しては、今後も必要なものを検討し提案していきたい。

今回当研究班で開発した保健統計ソフトとあわせて、この保健関係文書様式例もその基本となる個々のデータを集計、統計処理できるものである。子どもの心身における健康的な課題を

明確にし、早期把握、支援、連携、解決のためのエビデンスとすることができる。

このソフトの活用により、養護教諭の従来の役割について重要性を認識し、園内体制の中でその専門性を発揮することができるよう期待する。

保 健 日 誌

月 日 曜日			天候	気温	湿度	園長印	主任印	記入者印	
行事									
欠 席 状 況									
組								計	
欠 席	病欠								
	事故欠								
出席停止									
忌 引									
日 記	健康観察 園の安全衛生管理 昼食・おやつ状況 家庭連絡事項 その他								
園 内 傷 病 記 録	組	氏名	性別	時間	来室理由	負傷場所	負傷部位	処置・対応	処置後の状況

③子どもの健康を守るための 各健診のお知らせ様式例

組 園児氏名 _____

200X年 月 日

保護者 殿

〇〇〇幼稚園

歯科健診結果のお知らせ

先日行われました歯科検診の結果、以下の○印のとおりでした。なるべく早く、
専門医に見ていただいでください。

治療終了後、医師に治療所見を記入していただき、幼稚園に提出してください。

・ 未処置のう歯(虫歯)	が()本ありました
・ 不正咬合	・ 反対咬合	
・ 癒合歯	・ 過剰歯	
・ その他()

う歯などの箇所

右	6	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	6	左上
上													
右	6	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	6	左下
下													

治療(相談・検査)済み連絡票

〇〇〇幼稚園

組 園児氏名 _____

病 名()

・ 転帰

・ 指導事項

年 月 日

医師名

印

研究プロダクト開発に向けてのニーズに関する調査報告 ～幼児期の健康支援のための保健統計ソフト“すこやか保健室”を題材に～

安田 梓	大阪市立幼稚園
山口 智佳子	奈良教育大学附属幼稚園
小松原かおり	京都教育大学附属幼稚園
河合 三奈子	八幡市立八幡第五小学校
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部地域・国際看護学講座
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座

昨年度行われた厚生科学研究山縣班における「幼稚園養護教諭における同職種間連携ニーズに関する研究」では、幼児期における保健指導や指導教材、幼稚園における健康支援の専門家（養護教諭）の職務の確立が十分ではないことが明らかになった。今回、幼児期における3種類の保健統計管理ソフトを作成し、幼稚園養護教諭におけるニーズと幼児期における保健管理の調査を行った。保健日誌は活用され、職務に活かされていることが明らかになった。その一方で、幼児期における保健関係の書籍やソフトなどが十分に存在しておらず、日々葛藤と疑問の中にいることが明らかになった。

幼児期の健康支援を目的とした「保健統計ソフト“すこやか保健室”」を活用することによって、幼稚園養護教諭としての職務の確立と幼児期の保健管理の向上が期待できるのではないかと考察された。また同時に、幼児期の健康支援の担い手である保育園（所）においても使用可能な汎用性を持たせ、職種をこえた幼児期連係に貢献していく必要があると考えられた。

I. 研究の目的

平成15年度に行われた厚生科学研究山縣班における「幼稚園養護教諭における同職種間連携ニーズに関する研究」では、幼稚園児（幼児）対象の保健指導や指導教材、職務が確立されていないことが分かった。

幼稚園養護教諭としての専門性を発揮するために研究プロダクト（幼児保健統計管理ソフト“すこやか保健室”）の開発を行い、どのようなニーズがあるかを調べるにあたり、質問紙による調査研究を行った。

II. 研究に至るまでの背景

1) 調査・研究の進め方

状況を正確に把握するために、質問紙を用いた調査に取り組むことになった。

厚生科学研究山縣班では、平成15年度に幼稚園養護教諭の配置状況を調査している。その研究において把握した対象者に対し、ニーズ調査を行う方針をたてた。

2) 研究プロダクト（幼児保健統計ソフト“すこやか保健室”）の開発を進めるにあたって、幼稚園養護教諭における必要なニーズの仮説をたてることにした。

- ① 保健日誌の有無
- ② 幼児期における保健管理状況
- ③ 幼児保健統計ソフト“すこやか保健室”の活用方法
- ④ 得たい情報の内容

3) メールアドレスの把握（メーリングリストにつなげる）をするための設問を設けることにした。

III. 研究の方法

全国における幼稚園養護教諭の配置状況の調査で知り得た420園の養護教諭を対象に、郵送質問紙法で調査を実施した。保健日誌の使用や活用状況、幼児保健統計ソフト“すこやか保健室”についての意見・感想、幼稚園養護教諭として知りたい情報の内容などについて質問をした。回収率は32.9%（138人）であった。

IV. 結果

1. A あなたが勤務している園は次のうちどれですか。

1.国立(独立行政法人)	34人(24.6%)
2.公立	97人(70.3%)
3.私立	7人(5.1%)

1. B あなたの幼稚園の養護教諭としての経験年数(数字記入):(年)

1. 0年目	19人(13.8%)
2. 1年～3年目	36人(26.1%)
3. 4年～10年目	39人(28.3%)
4. 11年以上	38人(27.5%)

2. あなたは保健日誌を書いていますか。(○印1つ)

1. はい	121人(87.7%)
2. いいえ	17人(12.3%)

3. あなたの園で使用している保健日誌の様式はどのようなものですか。(○印1つ)

1. 所属している養護教諭研究会や教育委員会で統一様式がある。	58人(42%)
2. 自分で様式を考え、オリジナルのものを作成している。	30人(21.7%)
3. 園歴代の養護教諭が使っていたものを今も使っている。	11人(8%)
4. 園で歴代の養護教諭が使っていたものを自分で修正を加え使っている。	10人(7.2%)
5. 市販のものを使用している。	14人(10.1%)
6. 何も使用していない	6人(4.3%)
7. その他	8人(5.8%)

4. あなたの園では、保健日誌の様式はどのように活用していますか。(当てはまるものすべてに○印1つ)

1. 管理職に定期的に提出し押印してもらい、準公簿として扱っている	75人(35.0%)
2. 管理職に定期的に提出していないが、準公簿として扱っている	21人(9.8%)
3. 管理職に定期的に提出していないし、準公簿としての扱いでもない	16人(7.5%)

4. 保健日誌の記録をもとに、月別・学期別 など1年間の傷病や欠席状況の統計をおこなっている	41人(19.2%)
5. 保健日誌の記録をもとに、子どもや保護者への養護教諭としての対応について考えている	42人(19.6%)
6. 保健日誌を活用したいと思うが、どのようにすればよいのか分からないので活用できていない	11人(5.1%)
7. その他	8人(3.7%)

※7. その他(自由記述)

- ・週の執務内容を記録している。来室欠席記録などはパソコンに入力している。今まで使用していた園日誌を修正して使用している
- ・小学校用
- ・市より与えられるものを使用
- ・園日誌と兼ねている。
- ・今年度から使用せず保育ノートに個別で記入しています。
- ・少し修正している
- ・記入項目を統一している。
- ・検討はしているが統一は難しそうである。
- ・小学校の保健日誌の中に
- ・特別なときは記録を残す(大きなけがなど)。
- ・毎日のダイアリーに記録を書いている。
- ・けが・病気の状況のみノートに記録集計している。
- ・「保健情報館」保健統計ソフトを使用している。
- ・日誌を毎日つけるのではなく自分の記録としてノートに記載している。傷病の記録は別に作成している。

☆当研究班開発中の研究プロダクトについておたずねします。別紙資料(桃色)「幼児保健統計管理ソフト“すこやか保健室”の紹介」を見ながらお答え下さい。

5. 「幼児保健統計管理ソフト“すこやか保健室”」についてどう思われますか。(○印1つ)

1. 今までこのようなソフトがなかったため、絶対使ってみたい。	36人(26.1%)
2. 市販のソフトを使っていたがそれでは使いづらいので、ぜひ使ってみたい。	9人(6.5%)

3. 興味があるのでみてみたい	74 人(53.5%)
4. 既存のもので十分使えるので、興味がない。	5 人(3.6%)
5. 使ってみたいと思うが、パソコンが使えないので必要ない	4 人(2.9%)
6. その他	8 人(5.8%)

6. 「幼児保健統計管理ソフト“すこやか保健室”」には「幼稚園保健日誌」等の様式のデータが含まれます。それについてどう思われますか。(○印1つ)

1. パソコンでデータを残していきたいので「幼稚園保健日誌」の製本のものでなくてよい。	31 人(22.5%)
2. プリントアウトしたものや幼児の健康に関して書類をまとめられるもので、2つ穴のファイルの「幼稚園保健日誌」としてほしい。	50 人(36.2%)
3. 準公簿なので「幼稚園保健日誌」として製本したものがほしい。	24 人(17.4%)
4. 幼稚園にはパソコンがないので「幼稚園保健日誌」として製本したものがほしい。	1 人(0.7%)
5. その他	19 人(13.8%)

※5.その他(自由記述)

- ・パソコンでもデータがあればうれしいですパソコンに入力した後自分でプリントあるとしてひとつの日誌にすればよいのでしょうか
- ・市教委より保健日誌の用紙が配布されているので
- ・見当もつかないので無回答です。
- ・日誌は決められたものを購入するので、ソフトは必要ないが来室の統計にはソフトは便利
- ・データを入力した時点で保健日誌にリンクしているのなら欲しい
- ・保健日誌は準公簿としての取り扱いになっているので個人もちが出来ませんのでソフトに残しておくだけでいいと思います。
- ・3園兼務のため毎日記入できません。主に傷病状況などを記入しております。また、園日誌と重複する内容<欠席状況>もあるので特に必要ないと思っています。
- ・K市は委員会からの統一様式があるので必要ないのかな・・・でも個人的な記録として活

用できそうです。

- ・統一様式のものがあるので他のものは使えない。
- ・このソフトで欠席状況のグラフが作成でき頻回来室幼児一覧もできるのなら大いに使用したい。
- ・私は自分のを使っているので興味がないけれど使いにくいのでは?と思えます。
- ・自分なりに変えられるほうがよい。
- ・規定のものがあるのでそれを使っている。
- ・保健日誌は共同印刷のものがあるのでいい。

7. これからどのような情報がほしいですか?研修会・ホームページ・書籍それぞれでほしいものを順に3つ選んでください。

研修会で欲しい情報

1番()

1. 低身長について	7 人(5.1%)
2. 肥満について	10 人(7.2%)
3. 応急処置について	33 人(23.9%)
4. 子どもの病気について	15 人(10.9%)
5. 予防接種について	1 人(0.7%)
6. 食育について	20 人(14.5%)
7. 健康診断について	5 人(3.6%)
8. 保健室で使う薬について	3 人(2.2%)
9. 園での衛生管理について	8 人(5.8%)
10. 子育て支援について	9 人(6.5%)
11. ほけんだよりについて	0 人(0%)
12. 保健に関する文例について	2 人(1.4%)
13. 保健関係のイラスト	0 人(0%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	8 人(5.8%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	1 人(0.7%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	4 人(2.9%)
17. その他	5 人(3.6%)

研修会でほしい情報

2番()

1. 低身長について	2 人(1.4%)
2. 肥満について	11 人(8%)
3. 応急処置について	12 人(8.7%)
4. 子どもの病気について	20 人(14.5%)

5. 予防接種について	2人(1.4%)
6. 食育について	30人(21.7%)
7. 健康診断について	11人(8%)
8. 保健室で使う薬について	8人(5.8%)
9. 園での衛生管理について	10人(7.2%)
10. 子育て支援について	9人(6.5%)
11. ほけんだよりについて	0人(0%)
12. 保健に関する文例について	2人(1.4%)
13. 保健関係のイラスト	0人(0%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	2人(1.4%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	5人(3.6%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	2人(1.4%)
17. その他	3人(2.2%)

研修会でほしい情報

3番()

1. 低身長について	4人(2.9%)
2. 肥満について	6人(4.3%)
3. 応急処置について	9人(6.5%)
4. 子どもの病気について	16人(11.6%)
5. 予防接種について	5人(3.6%)
6. 食育について	8人(5.8%)
7. 健康診断について	1人(0.7%)
8. 保健室で使う薬について	19人(13.8%)
9. 園での衛生管理について	19人(13.8%)
10. 子育て支援について	22人(15.9%)
11. ほけんだよりについて	2人(1.4%)
12. 保健に関する文例について	1人(0.7%)
13. 保健関係のイラスト	0人(0%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	5人(3.6%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	0人(0%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	3人(2.2%)
17. その他	4人(2.9%)

ホームページでほしい情報

1番()

1. 低身長について	5人(3.6%)
2. 肥満について	2人(1.4%)
3. 応急処置について	13人(9.4%)
4. 子どもの病気について	20人(14.5%)
5. 予防接種について	3人(2.2%)

6. 食育について	12人(8.7%)
7. 健康診断について	4人(2.9%)
8. 保健室で使う薬について	9人(6.5%)
9. 園での衛生管理について	5人(3.6%)
10. 子育て支援について	5人(3.6%)
11. ほけんだよりについて	19人(13.8%)
12. 保健に関する文例について	5人(3.6%)
13. 保健関係のイラスト	9人(6.5%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	8人(5.8%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	1人(0.7%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	5人(3.6%)
17. その他	4人(2.9%)

ホームページでほしい情報

2番()

1. 低身長について	4人(2.9%)
2. 肥満について	4人(2.9%)
3. 応急処置について	5人(3.6%)
4. 子どもの病気について	16人(11.6%)
5. 予防接種について	11人(8%)
6. 食育について	8人(5.8%)
7. 健康診断について	4人(2.9%)
8. 保健室で使う薬について	13人(9.4%)
9. 園での衛生管理について	7人(5.1%)
10. 子育て支援について	3人(2.2%)
11. ほけんだよりについて	16人(11.6%)
12. 保健に関する文例について	16人(11.6%)
13. 保健関係のイラスト	8人(5.8%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	5人(3.6%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	7人(5.1%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	0人(0%)
17. その他	1人(0.7%)

ホームページでほしい情報

3番()

1. 低身長について	6人(4.3%)
2. 肥満について	3人(2.2%)
3. 応急処置について	5人(3.6%)
4. 子どもの病気について	9人(6.5%)
5. 予防接種について	3人(2.2%)
6. 食育について	5人(3.6%)

7. 健康診断について	6人(4.3%)
8. 保健室で使う薬について	13人(9.4%)
9. 園での衛生管理について	11人(8%)
10. 子育て支援について	15人(10.9%)
11. ほけんだよりについて	8人(5.8%)
12. 保健に関する文例について	14人(10.1%)
13. 保健関係のイラスト	8人(5.8%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	2人(1.4%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	4人(2.9%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	9人(6.5%)
17. その他	1人(0.7%)

書籍でほしいもの

1番()

1. 低身長について	5人(3.6%)
2. 肥満について	1人(0.7%)
3. 応急処置について	4人(2.9%)
4. 子どもの病気について	8人(5.8%)
5. 予防接種について	0人(0.0%)
6. 食育について	6人(4.3%)
7. 健康診断について	1人(0.7%)
8. 保健室で使う薬について	8人(5.8%)
9. 園での衛生管理について	3人(2.2%)
10. 子育て支援について	0人(0.0%)
11. ほけんだよりについて	19人(13.8%)
12. 保健に関する文例について	7人(5.1%)
13. 保健関係のイラスト	23人(16.7%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	19人(13.8%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	4人(2.9%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	19人(13.8%)
17. その他	6人(4.3%)

書籍でほしいもの

2番()

1. 低身長について	1人(0.7%)
2. 肥満について	6人(4.3%)
3. 応急処置について	5人(3.6%)
4. 子どもの病気について	7人(5.1%)
5. 予防接種について	0人(0.0%)
6. 食育について	6人(4.3%)
7. 健康診断について	4人(2.9%)

8. 保健室で使う薬について	5人(3.6%)
9. 園での衛生管理について	7人(5.1%)
10. 子育て支援について	2人(1.4%)
11. ほけんだよりについて	14人(10.1%)
12. 保健に関する文例について	10人(7.2%)
13. 保健関係のイラスト	25人(18.1%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	11人(8%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	14人(10.1%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	12人(8.7%)
17. その他	0人(0%)

書籍でほしいもの

3番()

1. 低身長について	1人(0.7%)
2. 肥満について	3人(2.2%)
3. 応急処置について	9人(6.5%)
4. 子どもの病気について	6人(4.3%)
5. 予防接種について	1人(0.7%)
6. 食育について	7人(5.1%)
7. 健康診断について	2人(1.4%)
8. 保健室で使う薬について	7人(5.1%)
9. 園での衛生管理について	6人(4.3%)
10. 子育て支援について	4人(2.9%)
11. ほけんだよりについて	12人(8.7%)
12. 保健に関する文例について	8人(5.8%)
13. 保健関係のイラスト	13人(9.4%)
14. 幼稚園養護教諭の一年間の職務について	7人(5.1%)
15. 幼稚園養護教諭の一日の職務の流れについて	8人(5.8%)
16. 幼稚園養護教諭のマニュアル	23人(16.7%)
17. その他	2人(1.4%)

※17.その他(自由記述)

- ・保健指導について
- ・保健指導の内容や教材の工夫など
- ・保健指導等の実践例
- ・養護教諭が保健指導などに生かせる絵本
- ・アレルギー体質の子どもについて
- ・特に必要ではありません。〇市の公簿として統一したものがあります。
- ・流行している病気について
- ・紫外線について

- ・最新の保健・健康に関する情報
- ・安全対策（遊具を含む）について
- ・効果的な保健指導について、特に命を大切にする（性教育）指導の実践例や資料が欲しいです。
- ・幼稚園用年間保健計画
- ・自閉症・ADHD児等の対応について

8. その他、当研究に期待することやご要望、ご意見などどんなことでもお書きください。

1. 記入あり	60人(43.5%)
2. 記入なし	78人(56.5%)

(自由記述)

- ・統計ソフトは今まで市販のものは使いづらく幼稚園バージョンができてうれしいです。ぜひ、園での健康教育に活用していきたいと思ひます。
- ・日誌、職務のマニュアルが出来ていくことをまっています。
- ・(私が行っている)保健指導が、マンネリ化していると思ひている。斬新で、効果的な指導法を考えていきたい。
- ・ソフト検診項目に、内科、眼科、耳鼻科検診も挿入していただけると有難いです。
- ・幼稚園の養護教諭の人数が少ない為、職務やその他の情報が少ないので、提供していただきたい。
- ・県内に幼稚園養護教諭が1人だけのため、情報の収集が大変困難である。
- ・自分の行っていることに自信がもてない面もあります。多くの先生方の実践資料や研修会などに出会えるとうれしく思ひます。これからもよろしくお願ひします。
- ・大変期待しています。近くの幼稚園に養護教諭がいなため、情報交換ができないことが、1番の悩みです。
- ・幼稚園向きのソフトがないので、期待しています。
- ・研究などいつもありがとうございます。
- ・すばらしい研究を有難うございます。このような統計資料が欲しくてたまりませんでした。是非活用できますよう研究をお願ひいたします。
- ・現在市販のソフトを使っていますが、小学校以上用なので使いにくさを感じています。幼稚園用ができるとうれしいです。
- ・今回のソフトに、個人データを管理統計する機能があると便利です。たとえば、言動・行動・印象だと家庭での生活など
- ・幼稚園の養護教諭はまだ数が少なく、研修の機会が少ないです。パソコンを利用したりして情報を交換できるといいと思ひます。
- ・父兄の協力無しでは園児の保健指導も成り立ちにくいのですが・・・父兄の方々には園児の健康や衛生習慣についてどのようなニーズがあるのか意見を聞きたいと思ひています。
- ・今まで幼稚園養護教諭としての職務等に対して重要視されていなかったため今回の研究を取り組んで下さっていることに感謝しています。今後も期待しています。
- ・HPの掲示板、いつも拝見させて頂いています。かき込みしたいなあ～と思ひているうちに読むだけで満足してしまい早1年がたちました。虫歯予防の紙芝居や、幼児の健康診断、健康教育の冊子等のとうやって手に入れることができるのかかわらず、興味深々で研究内容の方も覗かせて頂ひしていました。今回は京都が会場となっておりとてもうれしく思ひています。情報交換会楽しみにしています。
- ・幼稚園養護教諭の職務だけでなく、保健職員の職務について特に取り上げていただきたいです。
- ・市販のソフトもあるようですが、中身が幼稚園向きにでないのを使いづらく高価に思ひます。是非幼稚園向けのソフトがあるとうれしいですね。さらに幼稚園向けの保健イラストがあるといいと思ひます。
- ・毎日養護日誌を記入、提出する時間も確保できないことがある状況ですが「これではだめだー」と思ひ続けていたのでこのソフトにとっても興味があります。使ってみるのが待ち遠しいです。
- ・研究ご苦労さまです。
- ・養護教諭専用のソフトが少ないので、幼稚園養護教諭専用のソフトができたら、ぜひ活用したいと思ひます。
- ・幼稚園の養護教諭は、同じ養護教諭の中で「楽しそう」とみられがちです。幼稚園の養護教諭の為の取りくみをして頂ひしてとてもう

- れしいです。
- ・上記の欲しい情報について小学校や中学校むきの情報については色々あるのですが、幼児用になると少ないように思います。どからのどの情報についても詳しく知りたいと思います。
 - ・現在幼稚園の養護教諭はまだ園長や主任などの管理職に職務などが理解されていません。ですから便利屋としてあつかわれることが多いように思います。その点についてのデータが欲しいです。
 - ・ふには大変興味があります。保健の仕事でもパソコンを使う仕事が多くなってきていることを感じ、保健室にもパソコンを1台設置していただけたらよいと感じています。
 - ・幼稚園の養護教諭の先生方との意見交流や情報交換などできればうれしいです。
 - ・他市の幼稚園養護教諭との連携が実現できればと思っています。実践されている情報などを知らせてください。
 - ・幼稚園にパソコンはあるのですがインターネットでの通信はできません。CD-Rでお願いします。
 - ・保健指導の教材や指導案の書き方など幼稚園養護教諭のみなさんの意見が聞きたいです。
 - ・臨時採用なので職務内容も把握できないままに期間がすぎてしまいます。1日の流れなど、マニュアルがあれば安心なのですが・・・
 - ・パソコンソフトを使うのは便利でよいと思うのですが手書きの保健日誌もとてもいいものだと思います。(手書きのほうが感情をこめてかけるのでは)
 - ・いろいろな情報を教えていただけるとありがたいです。(幼稚園の養護教諭としてはネットワークがあまりないように感じるので)
 - ・いつもBBSにアクセスさせていただいています。一度保健指導をまとめたものができあがると参考になると思うんですが・・・
 - ・いろいろな先生の保健指導のまとめたものがあればすごく参考になります。
 - ・幼稚園に限定しての研修会が少ないので期待しています。
 - ・ホームページや前回のプロダクツ等大変活用させていただいております。今後も宜しくお願い致します。
 - ・幼稚園の養護教諭は本来の職務より「雑用」をこなすことが求められていることを感じる毎日です。保健の仕事は持ち帰り日中は他の雑用に追われます。この実態を踏まえできるだけ短時間に利用できるものであれば使ってもいいかなと思います。
 - ・幼稚園の健康診断の内容や健康診断書類例があるとありがたいです。
 - ・T都の幼稚園ですが私立で知る限りまわりに養護教諭がいません。HPで日々の様子などが活発に出るとありがたいです。
 - ・幼稚園養護教諭対象の研修会などなかなかない為情報交換もできずにいます。貴社の今後の研究に大変興味があり期待しております。何か情報などありましたらいただけますでしょうか。宜しくお願いします。
 - ・現在「保健情報館」を使っています。対象者が幼児～大学生までなので使用しているのですが肥満度の計算式は幼児にはあてはまらず困っていました。”すこやか保健室”はどのようなのでしょうか。ぜひみてみたいです。
 - ・HPをよく拝見させていただいています。幼稚園で大切なことを考えさせられる、勉強になるなど感じています。
 - ・幼稚園の養護教諭の情報交換の場として期待しています。保健指導の教材について充実して欲しいです。
 - ・夢あふれるソフトでうれしいです。教諭が週案でだすような子どものみとりを養護教諭の視点で記録できるといいですね。また、「保健日誌様式」に”出席停止””独立行政法人スポーツ振興センター”適用傷病を日記の部分に加えられないでしょうか。
 - ・幼稚園用のソフト今すぐにもでも使用したいです。大変楽しみにしています。
 - ・「すこやか保健室」について 来室統計の入力にスポーツ振興センター利用の有無についてであるとよい。処置・対応が複数の場合もあるのですが、その入力是可以ののでしょうか？
 - ・統計ソフトとても楽しみにしています。常に養護教諭のニーズに関する調査に基づいてプロジェクトを進められっしやる点がすばらしいと思い注目しています。
 - ・幼稚園養護教諭はまわりでも少ないのでいろ

いろいろ不便だったり片身のせまい思いをしたりしていますがこうして活動、研究していただいているだけでもとても勇気がわきうれしいです。これからも宜しくお願いします。

- ・幼稚園用の保健冊子（「健」のようなもの）ページは少なくともよい。（3年保育なので毎年ほけんだよりの内容を変えたい）
- ・素晴らしい研究ご苦労様です。よろしく願います。
- ・S市には養護教諭は私ひとりしかいません。そのため同職種（幼稚園）の人との交流はほとんどありません。保健指導などの実践交流に期待したいと思います。
- ・研究会等の案内があれば情報として送付していただけると良いかなと思っております。できたら自宅の方へ送付を希望します。
- ・特別な支援を要する園児についてのかかわり（障害ではないが気になる子ども）
- ・今まで幼稚園養護教諭の職務についてなど専門にした研究などなく心細く思っていました。とてもうれしく思います。ぜひ活用させていただきます。
- ・S県I市の公立幼稚園は県内で唯一養護教諭が配置されている。しかし園務の内容により他県の情報が入りにくいため今後もぜひ貴のグループとの情報交換を希望します。
- ・幼児保健統計がパソコンを使ってすぐに出せるようになると大変便利だと思います。

V. 考察

○「あなたは保健日誌を書いていますか」という質問に対して87.7%の人が「はい」と答えていた。また、「あなたの園で使用している保健日誌の様式はどのようなものですか」という問いに対しては、42%の人が統一形式のものがあり、半数以上は各園や個人のオリジナルのものを使用していると答えていた。「あなたの園では保健日誌の様式はどのように活用していますか」という問いの回答を見ると、半数程度が準公簿としての扱いであることが分かった。だが、「保健日誌の記録をもとに、月別・学期別など1年間の傷病や欠席状況の統計をおこなっている」の回答は19.2%、「保健日誌の記録をもとに、子どもや保護者への養護教諭としての対応について考えている」の回答は19.6%にと

どまり、保健日誌を使用しつつも十分に活用ができていないのではないかと考えられた。

○「幼児保健統計管理ソフト“すこやか保健室”についてどう思われますか」の質問に対して、「今までこのようなソフトがなかったので絶対使ってみたい」が26.1%、「興味があるのでみてみたい」が53.5%で過半数の人が興味を関心をもっていることが分かった。幼児期における保健統計管理ソフトが手に入りづらい現状と、幼児期の保健管理を積極的に行っていきたい様子が窺えた。

○「これからどのような情報がほしいですか？研修会・ホームページ・書籍それぞれでほしいものを順に3つ選んでください」の問いに対する回答を見ると、『研修会で欲しい情報』として「応急処置について」「子どもの病気について」「園での衛生管理について」が上位を占め、日々の執務に不安を抱き、幼稚園養護教諭が望む研修内容が十分に充実してないのではないかと考えられた。

『ホームページで欲しい情報』として「保健に関する文例について」が各項目の中で上位にあがり、幼稚園養護教諭としての専門的知識の向上が見られた。また「子育て支援について」も多く支持があり、健やか親子21をより充実させ、情報の利活用を進めていく環境作りが大切であるのではないかと考えられた。

『書籍でほしいもの』では「ほけんだよりに関して」「保健関係のイラスト」「幼稚園養護教諭のマニュアル」が上位にあがり、幼児期における保健関係の書籍が充実していない状況がうかがえ、現在幼稚園養護教諭のホームページに掲載しているイラストなどが求められていると考えられる。

介護保険法及び関連法令基準等と実施運用における 個人情報の扱われ方と連携体制に関する研究

下園美保子 下市町保健センター
松浦 賢長 福岡県立大学看護学部地域・国際看護学講座
山縣然太郎 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座

乳幼児期の健康支援を図る為には、各関係機関との情報連携を図ることが重要である。その情報連携の阻害因子のひとつに個人情報保護に関する問題があげられる。そこで、個人情報保護と各種関係機関の連携の両立を図りながら、サービス展開行っている介護保険事業について、連携が円滑に図られている背景を分析し、そこから乳幼児健康支援連携への応用の可能性を考察することを目的に、法令通知等の公文書等条件整備と実際の運用方法の二側面から分析した。結果、条件整備では、法令条文及び国レベルの通知文にて個人情報保護と連携の重要性がうたわれていた。又運用方法では、1、第三者への情報提供に関する説明を、本人及び家族にされる。2、情報提供の目的等が記載された文書に、本人及び家族のサイン・捺印をもらう。3、1、2は、市区町村の介護保険窓口での介護保険申請時、各種サービス事業所との契約時のすべてで実施される。4、同意が得られなければ、その部署から外部に情報は一切提供されない。5、実際会議等で情報を提供する際は、必ず本人・家族へ連絡し同意確認を行う。であった。これらを基に個人情報を扱う連携で重要な事項を考察し、以下の4項目にまとめた。『1、利用者側と関係機関が共通理解しやすい状況である。2、明確な説明と意思表示がされている。3、どこの情報が提供対象かが明確である。4、いつ、どこでどのような形で情報が提供されるのか明確である。』これらから、連携体制を築いていくために大きく問題となる個人情報保護と関係機関との連携を両立するためには、利用する側と利用される側の共通理解と明確な説明と意思表示を行った上で情報連携を図ることが大切であると考え。これは引いて言えば、個人情報を扱う領域に共通した、連携体制を築く上で重要な事項であり、乳幼児健康支援連携への応用の可能性が示唆された。ただし、乳幼児を対象とした個人情報保護と連携を考える上で注意しなければならないのは、乳幼児の親権を行う者（保護者）には、子の監護教育権という権利及び義務（民法第820条）があるため、保護者の同意が得られにくい場合に対しては、関係機関との連携が非常に困難になるのではないかと考える。この問題に関しては、今後各専門家等を交えて、具体的に検証していく必要があると考える。

I. 研究の目的

乳幼児期の健康支援を図る為には、各関係機関との情報連携を図ることが重要である。しかし、現場では情報連携が進まない現状がある。その要因のひとつに個人情報保護に関する問題があげられる。

そこで、個人情報保護と行政及び介護保険法に基づく指定業者間の連携の両立を図りながら、サービス展開行っている介護保険事業について、各種関係機関の連携が円滑に図られている背景を、条件整備、実施運用等の二側面から分析し、そこから乳幼児健康支援連携への応用の可能性を考察したので報告する。

II. 研究の方法

介護保険法に基づく事業について、個人情報保護と行政及び業者間の連携の両立を図ることができる背景について現状分析する。分析は、法令通知等の公文書等条件整備及び実際の運用方法の二側面から行い、これらから、乳幼児健康支援連携への応用の可能性を考察する。

III. 結果

【条件整備】

○『介護保険法』

1、個人情報：市町村は、他関係機関に対して情報提供を求め、依頼し、照会させることが出

来る。(法第23条)

2、連係：特記なし。

○『指定居宅サービス等の事業の人員、設備、及び運用に関する基準』

- 1、個人情報：指定訪問介護事業所は、サービス担当者会議等において、利用者及び家族の個人情報をを用いる場合は、利用者及び家族の同意をあらかじめ文書により得ておかなければならない。(基準第33条第3項)
- 2、連携については、指定居宅サービスの事業を運営するに当たっては、地域との結びつきを重視し、市町村、他の居宅サービス事業者その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めなければならない。(基準3条第2項)

【実施運用】

- 1、第三者への情報提供に関する説明を、本人及び家族にされる。
- 2、情報提供の目的等が記載された文書に、本人及び家族のサイン・捺印をしてもらう。
- 3、1、2は、市区町村の介護保険窓口での介護保険申請時、各種サービス事業所との契約時のすべてで実施される。
- 4、同意が得られなければ、その部署から外部に情報は一切提供されない。
- 5、実際会議等で情報を提供する際は、必ず本人・家族へ連絡し同意確認を行う。

IV. 考察

結果をもとに、連携が円滑に実施されている拝啓について分析する。

- 1、利用者側と関係機関が共通理解しやすい状況である。

個人情報を保護すること、関係機関と連携を取ること、必要であれば会議等を行うよう努めること等について、法律や国レベルの通知に明文化されている。これらにより、個人情報を保護を前提に、本人及び家族の支援を目的とした情報連携の必要性が、行政や事業所のみならず、利用する本人や家族にも理解してもらいやすいのではないかと考える。

- 2、明確な説明と意思表示がされている。

本人及び家族に対し確実に説明を行い、文書にて明確に意思表示している。これによって、トラブルを最小限にとどめられるのではないかと考える。

- 3、どこの情報が提供対象かが明確である。

第三者への情報提供の同意は、基本的のその機関が始めて対象者を把握した時に、説明及び同意サインを得ている。これにより、どこで得られた情報が同意の対象となるのかが明確になりやすく、利用者には理解してもらいやすいのではないかと考える。

- 4、いつ、どこでどのような形で情報が提供されるのか明確である

ケースカンファレンス等の会議に本人及び家族の情報を提示する際は、事前にその旨を報告される。これにより、いつどこでどのような形で情報が提示されるのかが把握でき、当事者の安心につながると考える。

V. まとめ

連携体制を築いていくために大きく問題となる個人情報保護と連携を両立するためには、利用する側と利用される側の共通理解と明確な説明と意思表示を行った上で情報連携を図ることが大切であると考え。これは引いて言えば、個人情報を扱う領域に共通した、連携体制を築く上で重要な事項であり、乳幼児健康支援連携への応用の可能性が示唆された。

ただし、乳幼児を対象とした個人情報保護と連携を考える上で注意しなければならないのは、乳幼児の親権を行う者（保護者）には、子の監護教育権という権利及び義務（民法第820条）があるということである。つまり、自己決定可能な成人と比べて、自己決定不可能な乳幼児では、監護教育権の権利を根拠に保護者の意見が加わるため、保護者の同意が得られにくい場合に対しては、この権利の限度を越えているかどうかの判断を迫られる可能性があり、関係機関との連携が非常に困難になるのではないかと考える。この問題に関しては、今後法律の専門家等を交えて、具体的に検証していく必要があると考える。